

社会福祉法人 東京有隣会

有隣

YURIN

2023.5

(令和 5 年)



新棟建設経過報告

～ 工事写真で振り返る着工から現状 ～

着工前の有隣病院 2022.8



解体工事終了時 2023.3



土工事 (現状)



杭工事



山留工事



工事工程 →

2024年7月
完成予定

ケアプランゆーりん

〓 居宅介護支援事業所 開設のお知らせ 〓

日頃より東京有隣会をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

この度当法人では地域の皆様への貢献に、より一層力を注ぐべく、在宅生活をされていらっしゃる皆様の加齢によるお困りごとに対応する「居宅介護支援事業所」を、四月一日に開設いたしました。

「居宅介護支援事業所」とは、ご自宅で生活される方の困りごとに対応するケアマネジャーが所属する事業所です。

思わぬご病気で入院し、自宅での生活に支障が生じてしまった方や、徐々に足が弱って、以前のように歩けなくなってしまうたり、転ぶようになってしまったり困っている方など、ご担当するケアマネジャーがいらっしやらないようでしたらぜひ一度ご相談ください。当事業所では、誠意のある丁寧な対応を心がけております。

事業所名：ケアプランゆーりん
 管理者名：まみやりか 間宮 里加
 所在地：世田谷区船橋 2-15-38
 (第二有隣ホーム内)
 電話番号：03(5490)7711
 FAX番号：03(5490)7719
 営業時間：月～金(祝祭日を除く)
 8:30～17:30



まみやりか
間宮 里加

・主任介護支援専門員
 ・日本ケアマネジメント学会
 認定ケアマネジャー

令和五年四月一日、社会福祉法人東京有隣会に「ケアプランゆーりん」が開業致しました。私はその管理者に就任いたしました、間宮里加と申します。

二〇二五年に法人が創立一〇〇周年を迎えるにあたり、より一層地域の皆様に貢献するという法人の方針に基づき、皆様のもとにお伺いして、不安が生じた在宅生活でも、できる限り安心、安全にお暮しいただけるよう、支援させていただきます。ご病气や加齢により、「最近、

どうも暮らしにくい」とお感じの方は、ご相談いただけましたら、その方に適した介護保険あるいはその他のサービス等をご紹介します。どうぞよろしくお願ひ致します。

有隣ホーム

〓 感染対策のための仕切り工事 〓

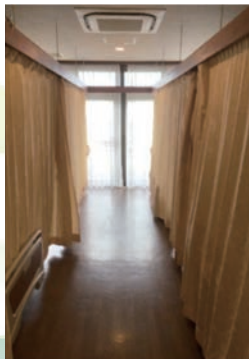
春になり暖かく過ごしやすい季節となりました。

さて、世間的には、コロナウィルスの陽性者が減少し通常の生活に戻りつつありますが、有隣ホームではまだまだ感染対策を継続しております。

感染予防の強化の為、一月～三月にかけて利用者様の居室内の仕切りのカーテンを、スライド式の仕切りに変更しています。

今年度も利用者様のより良い生活のため、職員一同頑張っております。

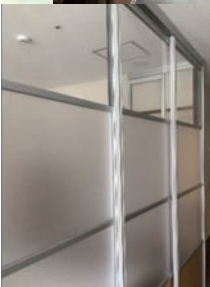
工事前



工事後



感染予防



第2有隣ホーム

♪麗らかな春の日♪



第2有隣ホームにもお花見の季節がやってきました。今年には三月からとても暖かい日が続く、近隣の桜は三月中旬には満開。春の訪れを感じて頂けたかと思えます。やはりお散歩はいいものですね。お花見だけではなく美味しいおやつも召し上がって頂きました。

二月初旬～三月初旬にかけて、「ピュアット」と言う浴槽に取り付ける機械を試験的に導入しました。マイクロ



ファインバブルを発生させ、せっけんなどを使わずお湯に浸かるだけで身体がキレイになるというものです。半信半疑であった職員も実際に使ってみると、肌がさらさらになり効果がすぐに感じられました。利用者様にも職員にも大好評でした。



有隣ケアセンター

♪ご利用をお待ちしております♪

新年度が始まりました。有隣ケアセンターでは、四月の行事として、おやつ作りとお茶会を開催しました。

おやつ作りでは、皆さんの目の前で管理栄養士が生地を焼き、お一人お一人自分で餡を包んで完成したものを召し上がっていただきました。ご自分で作ったお味は格別だったようです。

お茶会は年に三回ほど催しますが、今回は春の野点でした。職員のお点前でお抹茶と和菓子を楽しんでいただきました。

お茶会のあとは、設えの前で記念撮影もし、楽しいひと時でした。

この春、ようやくコロナ感染も減少傾向となり、行える行事も増えてきました。徐々に日常を取り戻しつつある中、皆様のご利用を心よりお待ちしております。



有隣病院

健康
コラム

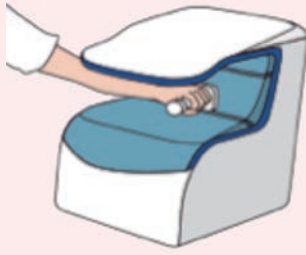


骨粗しょう症の検査

骨粗しょう症は、自覚症状がなく、知らないうちに進行することがほとんどです。

自覚症状がないからこそ定期的に骨密度検査を受けることが重要です。

骨粗しょう症になると、骨折が起きるリスクが高まるので、早目に診断を受け、食事や運動療法に加え、場合によっては骨を強くするお薬などによる薬物治療を早く始めることが肝心です。



女性は五十歳以上・男性は七十歳以上になったら定期的に骨密度を測りましょう。

有隣病院では、診断に使用されるデキサ法とスクリーニングする測定方法があります。

DXA（デキサ法）は、前腕などの骨密度をX線で測定します。

数分じっとしていれば終わります。診断に加えて、お薬の治療効果の評価にも適しています。

定量的超音波測定法は、かかとの骨に超音波を当て、骨の強さを反映する測定方法です。

診断には使われませんが、検診などで骨折リスクを簡単にスクリーニングする方法として普及しています。

有隣病院健康管理室

船橋会主催防災体験ラリーに参加しました

有隣病院では骨折時の固定法として、副木の代用として新聞紙等、三角巾の代用として手提げビニール袋を使った応急処置の仕方を教えました。

参加者全員が身近な物で応急処置ができることが分かり喜ばれました。また、起震車の体験、マンホールトイレの見学を行いました。

